

2026 年 1 月 7 日

公共健康医学専攻 1 年

福司光成

Target trial emulation を用いた高齢心不全患者のがん治療戦略における  
最適化された治療効果の推定

心不全患者の約 15～20%にがんが併存し、がん死亡が非心血管死の主要因となっていることから [1]、腫瘍循環器学の研究が注目されている。心不全の既往があるがん患者の転帰を検討した観察研究において、心不全患者は標準的ながん治療が避けられている可能性があり、がん死亡率が高いことが報告されている [2]。そのため、心不全の重症度やがんの進行度など臨床的な状況に応じて、どこまで心毒性のリスクを許容するか議論が行われており、臨床ではがん治療の効果と副作用のトレードオフを考慮する必要がある。しかし、従来のがん治療のランダム化比較試験では厳格な適格基準により心不全患者は除外されることが多いため、心不全患者に対するがん治療のエビデンスは乏しい。また、既存の観察研究 [2] では心不全の重症度といった必要な共変量を測定できておらず、観察データにおけるランダム化の欠如や、選択バイアスといった問題に対処できていない。これらの問題に対処するために、real world data (RWD) を用いた target trial emulation (TTE) の枠組みに着目した。がんの治療戦略を TTE で再現し、臨床的な状況に応じて最適化された心不全患者の治療効果を推定することが可能であると考えられる。

本抄読会では、自身のクリニカルクエスションについて整理し、既存の観察研究 [2] における知見とバイアスや未測定の変数因子による限界を踏まえて、自身の研究の課題を提示する。最後に検討している TTE のプロトコルや解析手法 [3] について提案し、今後の方針を示す。

参考文献

1. Hiroshi Kadowaki, et al. Shared and Reciprocal Mechanisms Between Heart Failure and Cancer—An Emerging Concept of Heart-Cancer Axis—. Circ J. 2024 Jan 25;88(2):182-188.
2. Jenica N Upshaw, et al. Association of Preexisting Heart Failure With Outcomes in Older Patients With Diffuse Large B-Cell Lymphoma. JAMA Cardiol. 2023 Mar 29;8(5):453-461.
3. David G Lugo - Palacios, et al. Going beyond randomised controlled trials to assess treatment effect heterogeneity across target populations. Health Econ. 2024 Sep 26;34(1):85-104.